



マスコットキャラクター  
「たねっこ」

# 種まき通信



第65号 編集・発行：田根地区・地域づくり協議会  
2024.10 〒526-0273 長浜市高畑町316-1 TEL74-1450

昨年同様、今年も「子ども商店」を開きます。  
昨年はタネまき祭りの中で開催し、会場はまちづくりセンターでした。  
今年度は、十月二十日（日）に開催予定の「田ねフェスタ」のお昼休み時間に開店することになっています。来年度の創立百五十周年を意識して、会場を田根小にしました。



昨年の子どもの商店の様子①



昨年の子どもの商店の様子②

この「子ども商店」は、単に田ねフェスタ当日に子どもたちがお店を開くというものではなく、その企画段階から子どもたち自身が主体的に取り組みます。そのため、事前に二日間の準備DAYを設けています。  
第一回は去る九月二十三日。この日は「お店を考える」と称して、お店の内容について子どもたち自身が話し合いました。

「子ども商店」を開店！

田根小創立百五十周年（令和七年度）プレイベント

二回目は十月十四日の予定。  
「お金・接客」をテーマにお金の計算やお客さんとのやり取りについて事前学習をします。  
計二回の準備DAYは、いずれも十時から十五時までのハードスケジュールです。  
当日はいろんなトラブルが予想されますが、未来を担う子どもたちの一生懸命な働きぶりを温かな目で見守り、応援していただければ幸いです。（お買い上げもよろしく願います）



昨年の子どもの商店の様子③

## 福祉保健部会による

### 「田根小でラジオ体操をしよう」

を開催しました！



ラジオ体操の様子①

去る九月七日（土）、地域づくり協議会福祉保健部会主催の「田根小でラジオ体操をしよう」を開催しました。  
当初は八月三十一日に開催予定でしたが、迷走する台風十号の影響で延期となりました。



ラジオ体操の様子②

当日は、早朝からたくさんのお子や保護者、関係者が集まってくれました。

そして、この日は田根小の奉仕作業の日でもあり、体操の後には暑い中、校舎周辺の草刈りなどに精を出していただきました。きれいになったグラウンドで運動会（10/5）が迎えられます。

## 風の人（関係人口）との出会い

### 新しい人と懐かしい人たち

まちづくりセンターの指定管理が始まった令和四年から、新しい方たちとの出会いが増えたように感じています。

令和四年三月、地域おこし協力隊の堀田さんが横浜から移住。その後の活躍は「活動報告」とおりです。特に大学との関係づくりに奔走。東大や早大、専修大、京都橘大との交流が始まりました。今年度も新たに立正大などとの交流が始動。

また令和五年には、大阪から宮部町に移住された芸術家との出会いがあり、その方を通じてポーランドやドイツ、スペインのアーティストが田根に滞在して作品づくりをする「アーティスト・インレジデンス」が実現。

また、劇団「発起塾」との出会いもありました。

こうした新しい人たちとの出会いの一方で、懐かしい人たちとの再会も増えています。  
令和五年には、以前同志社大

生中心のチーム「SoHub」を主宰してくれていたマサチューセッツ工科大学（MIT）卒業生が田根小の出前授業の講師として再訪。

さらに、平成二十三年五月から八月まで田根に滞在したMIT卒業生も、米国のゲームクリエイターを引き連れて久しぶりにやってきました。

今年は慶應大小林教授の働きかけもあって、慶大のOBやOGも田根にやって来てくれます。そして今月は、前述の芸術家の紹介でウクライナのアーティストが田根小の子どもたちに講演をしてくれます。

また月末には、MITの元教授が七年ぶりにボストンから来訪予定。しかもイタリアの小説家を連れて…。

たとえ住むことはなくても、田根に関心を持ってくれる「風の人（関係人口）」との出会いを大切にしたいと思います。

2024  
10月

# 田根まちセンからのお知らせ

▶生涯学習講座の参加者募集をしています◀ (要申込)



## スペイン料理教室

「フィデウア(パスタパエリア)」と「トルティージャ(スペイン風オムレツ)」を作ります。

日時 11月24日(日)10:00~12:00 (希望者は12:00~13:00会食)

会場 田根まちづくりセンター 調理室

定員 8名(先着順)

講師 西村のんきさん(スペイン在住経験あり)

参加費 1,000円(材料費) 当日集金

持ち物 エプロン、マスク、三角巾、

手ふきタオル、(持ち帰り用容器)

申込先 田根まちづくりセンター

\* 小学生以下は保護者同伴

\* 申込メ切 11月16日(土)



## 畳縁を使った「しめ縄リース」づくり

手芸材料として人気の「畳縁」を使って、すてきな「しめ縄リース」を作しましょう。

日時 11月30日(土) 10:00~12:00

会場 田根まちづくりセンター 研修室

定員 7名(申し込み先着順)

講師 畳縁クラフト認定 macha.koyaさん

参加費 2,500円(材料費) 当日集金

持ち物 布用はさみ(貸し出しあり 要予約)

申込先 田根まちづくりセンター

\* 小学生以下は保護者同伴

\* 申込メ切 11月16日(土)



| R6年 10月 休館日 |    |    |    |    |    |    |
|-------------|----|----|----|----|----|----|
| 日           | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|             |    | 1  | 2  | 3  | 4  | 5  |
| 6           | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 |
| 13          | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
| 20          | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
| 27          | 28 | 29 | 30 | 31 |    |    |

休館日です  
赤色が

## 田根まちづくりセンター

開館時間:8時30分~17時15分

(夜間使用がある日は夜間もスタッフ在中)

休館日:月曜、第1・3日曜、祝日、年末年始

〒526-0273 長浜市高畑町316-1

TEL 0749-74-1450

FAX 0749-74-1445

✉ tane-machisen@zc.ztv.ne.jp

気軽に声掛けてください！

# 堀田雅史の活動報告

## 看護大学との連携！



翌日には、長浜市内の看護業界に興味のある高校生を募集し、「看護セミナー」を開催しました。1名の高校生が参加してくれて、大学生とも楽しそうに交流していました！大学生も自分が学んだことをアウトプットすることで、より勉強になったようです！

近年の看護領域において、「地域医療」が必修になったようです。今回は6名の学生が、さくら番場さんへ赴き半日ですが職員さん、入所者さんとの交流を行いました。学生たちが入所者の方々と同じ目線で話していたのがとても印象的でした。たったの半日だけでしたが、入所者さんも職員さんも、とても喜んでくれていたようです。今後も続けていけるように頑張りたいと思います。

8月19日～20日。愛知県にある人間環境大学看護学部が田根に来て、フィールドワークを行いました。

## 小学生と農業体験



9月14日に東京都品川区にある立正大学の地域発展委員会サークルの3名が田根に来訪し、田根の小学生を集めて農業体験を行いました。「レファームさくら」さんにご協力を頂き、6名の小学生が参加してくれました。

当日はミニトマトの収穫を行い、バック詰めから出荷、店頭への品出しまで全て行いました。通常は30、40パックを販売しているようですが、この日は小学生が頑張ったため60パックが店頭に並びました。全て売り切れるか不安だったのですが、販売開始3時間弱で完売したようです！

暑いハウスの中で一生懸命作業している姿が印象的で、小学生も大学生もつまみ食いしながら楽しんでいたようです（笑）  
今回企画してくれた大学生も手ごたえを感じてくれたようで、第2回も開催してくれると思います！楽しみにしています！

## プロフィール

堀田 雅史 ほった まさし

1986年、埼玉県桶川市で生まれ、群馬県東吾妻町で育ちました。  
趣味は、サッカーとフットサルです！



## 編集後記

8月は多くの大学生が来訪したのですが、反動で9月は比較的にんびり過ごすことが出来ました。改めて振り返ってみると、8月はシャンプーの減りとトイレレットペーパーの買い足し頻度が高く、それだけうちに多くの人がいたんだなと実感しています。

10月は我が家の空いている部屋のリノベーションなど、身近なところの仕事が片付けていきたくと思っています。

真夏の暑さも峠を越えたような気がします。残暑も長引くとの予報もあります。皆様も引き続き熱中症にも気を付けながらお過ごしください。